

栄 養 科

リーダー 鈴木一平

1. 令和元年度部門目標

- ・栄養管理体制拡充
- ・質の高い給食提供
- ・安全管理体制強化

2. 業務体制・スタッフ

病院職員：管理栄養士 3 名・非常勤管理栄養士 3 名

委託職員：管理栄養士・栄養士・調理師・調理補助員 計約 20 名

3. 業務実績

《給食実績》 給食提供数：135901 食（前年比+4.0%）

調乳本数：80559 本（前年比+1.2%）

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
|---------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 提供食数 (特食・調乳併用含) | 146011 食 | 132229 食 | 141672 食 | 130722 食 | 135901 食 |
| 特別食 | 38200 食 | 32760 食 | 34495 食 | 32441 食 | 30339 食 |
| 特別食割合 | 26.2% | 24.8% | 24.3% | 24.8% | 22.3% |
| 調乳本数(小) | 70990 本 | 62381 本 | 64688 本 | 65093 本 | 66652 本 |
| 調乳本数(大) | 10481 本 | 12453 本 | 15326 本 | 14463 本 | 13907 本 |

《栄養食事指導（加算）》 指導件数：1554 件（前年比-10%）

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
|-----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 入院 | 662 件 | 591 件 | 612 件 | 692 件 | 564 件 |
| 外来 | 825 件 | 933 件 | 1001 件 | 1040 件 | 990 件 |
| 合計 | 1487 件 | 1524 件 | 1613 件 | 1732 件 | 1554 件 |
| 1 栄養士当たり | 212 件 | 305 件 | 330 件 | 297 件 | 259 件 |

《NST加算》 算定件数：287 件（前年比+41.3%）

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 算定数 | 341 件 | 4 件 | 107 件 | 203 件 | 287 件 |

4. 令和元年度の総括

栄養科の2大業務のひとつ、栄養管理については、昨年度、治療食の提供頻度向上のための運用構築など、一昨年度までの保守的な様相から転じて発展的な業務に着手し、その成果を待つのみという案件もあったが、年度内に職員の退職があり、一部業務の縮小・撤退を余儀なくされた部分もあった。

もう一方の給食管理においては、比較的安定して業務を進行できた年ではあった。そのため、昨年度収集された、各病棟における未消化の課題に着手し、対策を練ることもできた。しかしながら次年度に向けた給食業務委託の入札の結果、業者の変更が決定し、上記対策の施行は一旦留保せざるを得なかった。

一言で表せば一進一退の年であった。今後も厨房機器や設備は経年劣化が一層進行し、ハード面では保守に費やすコストが嵩んでいくことは避けられない。しかし、ソフト面からみた運営のためのシステムは成熟し、次年度に期待できる状態までにはなってきた。

5. 今後の目標

- ・栄養管理体制拡充
- ・質の高い給食提供
- ・安全管理体制強化

新年度は栄養科職員の増員、給食業務委託先の変更があり、ともに新体制にて迎えることとなった。上半期については給食業務の新たな委託先とともに、安全な給食提供と品質維持及び向上のために注力する必要があると予想される。こちらを早期に軌道に乗せ、栄養管理業務においても自科のパフォーマンス向上を目指し、多様なアプローチをしていくことができると良いと考えている。